

## 欠席委員からの意見

### 【鈴木委員】

- 1頁 本文中、9行目「本市も様々な取り組みを行ってきました」を「本市も様々な取り組みを行って来ました」(表1 少子化対策に関する国・新潟市における主な取り組み 表〇〇主な子ども・子育て支援施策の取り組み状況)にする。
- 22頁 「(5) 主な子ども・子育て支援施策の取り組み状況」中、表に言及した説明文の本文を追加記載する。
- 2頁の表に例えば「表1 少子化対策に関する国・新潟市における主な取り組み」のような表題をつける。以下の頁についても同様に網掛け欄やコラム欄等に図表番号・表題を通し番号で記載し、目次のあとにこれらの一覧を載せ一瞥性を高める。
- 1頁 本文中、18行目「この法律に基づき」を「これらの法律に基づき」にする。
- 3頁 本文中、下から4行目「位置づけられます」を「位置づけられます(表2 計画の位置づけ)」にする。
- 5頁 表題にコラム1を追加する
- 23頁 「1目指すそれぞれの姿」中、「子どもは」、「保護者は」と続く前に本文説明文を追加する。
- 23頁 「子どもは・・・」中、最終行「自分のまちに親しみや愛着を持ち、将来に夢や希望を描き、心豊かにいきいきと育っています。」の記載に大賛成。豊かなコミュニティ感覚 *sense of community* を育てていることは、地域の高い凝集性(つながり・まとまりの良さ)を示すとともに、子ども期に獲得したこのような心の原風景を持ち続けることは、生きる力となって、うまくいかないときでも子どもを支え応援することになるから。因みにこのような豊かな体験を子ども期に根こそぎ奪ってしまうのが子ども虐待。子ども虐待の容認されない最大の理由である。
- 23頁以降、文脈から自明の場合「男女ともに」を削除する。
- 25頁中、「基本理念の考え方」を削除する。
- 29、30頁の図を例えば3頁「(4) 計画の位置づけ」に続いて「(5) 計画の体系」のような形でもっと前にもってきたほうが読む人の理解が深まるのでは。第2章の先頭でもいいのでは。
- 29頁地域中、「●共助・近助を拡大・強化し」を「●互助・近助を拡大・強化し」のほうが適切か。

共助は年金、介護保険制度のように保険料を拠出して支えあう公的制度の印象が強く、自発的な取り組みは互助が用いられる場合が多い。

○9 1 頁中、平成 31 年度成果指標（数字）設定の理由・根拠の記載は不要か。

【小池委員】

○4 頁、確認ですが、次世代計画と今回の事業計画は一体的に設置という理解でよろしいでしょうか。

○2 0 頁、下線部が前回意見を受けて加筆された部分だと思います。子育てについて感じることを「楽しいかどうか」「不安かどうか」「負担かどうか」の3点から組み合わせているのですが、ここの結果がわかりにくいように思います。

せめて、最も多い回答をした人等が全体の何パーセントとなっているかを追加してはどうでしょうか。

あるいは、施策提言につなげていくためのデータとするのであれば、楽しくない、不安、負担の三者がそろっている人が一番の課題なので、そういう回答をした人がどれだけいるのか（少数派と思いますが）を追加してはどうでしょうか。

施策提言につなげることができるような結果の書き方にしていいただければと思います。

○5 頁（1）健診→股関節は入れないのですか。

乳児健診は1ヶ月健診のことと理解していますが。

○5 3 頁、こんにちわ赤ちゃん事業について、新潟市は母子保健における訪問指導と連携しながら切れ目のない訪問支援を行っていると同いました。

そういった内容を「これまでの取り組みと成果」に記載し、乳児家庭に対して漏れのない訪問を行っていることを記載してはいかがでしょうか。

○8 2 頁、新潟市児童虐待防止対策協議会の運営とありますが、これは「新潟市要保護児童対策地域協議会」のことと理解してよろしいでしょうか。

そうであれば、文言をそろえた方がいいと思います。違うのであれば、説明を加えた方がいいかと思います。

○9 0 頁（2）の老朽化施設の改築・改修と小規模化の推進を記載していることと、新しい乳児院も小規模で設置していると聞いているので、（1）にもそのことを記載した方がいいと思います。

乳児院を設置することは、評価できる反面、施設養護から家庭養護が言われている今日、家庭支援専門相談員と心理担当職員の配置だけでは不十分です。

乳幼児期の子育てを支えるひとつの拠点としての乳児院として、入所している子どもの養育を確保し家庭に近い状況で養育することと、地域資源として活用することを踏まえての設置であってほしいと思います。